

第 51 回
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
全国(熊本天草)大会及び研修会

【大会テーマ】

地域資料調査の現在

期 日 令和 7 年 11 月 13 日(木)・14 日(金)

会 場 天草市民センター

開催方法 対面のみ(後日配信あり)

主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)

共 催 天草市

後 援 国立公文書館

熊本市/

天草市教育委員会/天草宝島観光協会/

熊本日日新聞/熊本朝日放送/熊本県民テレビ/熊本放送/

テレビ熊本/天草ケーブルネットワーク

開 催 要 項

1 期 日 令和7年11月13日(木)・11月14日(金)

2 主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)

3 共 催 天草市

4 後 援 国立公文書館 熊本市/ 天草市教育委員会
天草宝島観光協会/熊本日日新聞/熊本朝日放送/熊本県民テレビ/熊本放送/テレビ熊本/
天草ケーブルネットワーク

5 会 場 **大会会場**

天草市民センター(ホール等) 熊本県天草市東町3番地 TEL0969-22-4125

研修E(施設見学)会場

・天草アーカイブズ	熊本県天草市志柿町 6335	TEL 0969-27-5500
・天草キリシタン館	熊本県天草市船之尾町19-52	TEL 0969-22-3845
・崎津資料館みなと屋	熊本県天草市河浦町崎津463	TEL 0969-75-9911
・天草ロザリオ館	熊本県天草市天草町大江1749	TEL 0969-42-5259
・高浜上田史料館	熊本県天草市天草町高浜南598	TEL 0969-42-1115
・熊本博物館	熊本県熊本市中央区古京町3-2	TEL 096-324-3500

交流会会場

アmaksササタカミングホテル 熊本県天草市亀場町亀川 74-3 TEL 0969-22-0100

- 6 内 容 (1) 各種研修会(施設見学を含む)
(2) 大会テーマ研究会
(3) 天草大会特別座談会
(4) ポスターセッション、企業・委員会等展示
(5) 交流会

7 申込方法

「参加申込方法」(p13-p15)をご覧ください、オンライン申込みフォームを利用してお申込みください。オンライン申込みができない場合は、別紙「申込書」にご記入のうえ、受付業務を受託している日本内外旅行までメール、FAXにてお申込みください。

8 大会参加費 会員(機関会員・個人会員) 無 料
非会員 ¥1,000

9 大会資料 昨年度大会に引き続き、ペーパーレスの観点から、全史料協ウェブサイトにて PDF データとして掲載し、参加者の方々にダウンロードいただく形式にいたします。ご了承くださいませようようお願い申し上げます。

10 交流会費 会員・非会員にかかわらず、ひとり ¥8,000
(参加は任意ですが、参加される方は、必ず申込フォームまたは申込書にてお申込みください。)

11 大会会場周辺では飲食店が少ないようですので、大会初日(11月13日)は事前申込にて弁当(お茶付き ¥1,350)を会場でお渡しいたします。必要な方は、申込みフォームまたは申込書にてご回答ください。

なお、大会2日目(11月14日)につきましては、研修 E-2~E-4へご参加の方は、事前申込にて昼食(お茶付き ¥1,500)をご用意いたします。

12 その他

- ・会員相互の親睦を図るため、参加者名簿(氏名・所属[機関名又は都道府県名])を作成します。
掲載を望まない方は、申込時、通信欄(備考欄)に「名簿掲載否」とご記入ください。なお、名簿作成にあたっては個人情報の保護に十分配慮し、その用途を本大会に限定しますので、趣旨をご理解の上、掲載にご協力ください。
- ・手話通訳や車椅子対応等の特別な配慮を希望される方は、申込時に通信欄(備考欄)にご記入ください。

大会会場

【天草市民センター】

〒863-0033 熊本県天草市東町3番地

TEL0969-22-4125



アクセス

【熊本市方面からバス】

快速バスあまくさ号にてバス停「天草中央総合病院前」で下車、徒歩10分／約600m（太田町交差点から右折）

【サンタカミングホテル方面からバス】

[42]下大多尾線 本渡バスセンター行き

バス停「天草工業高校前」8:37 乗車、バス停「太田町」8:39 で下車、徒歩約350m

※全て徒歩の場合 約20分／1.4km

【本渡バスセンターからバス】

- ・有明線 松島行き バス停「太田町」下車、徒歩にて約350m
- ・下田線 下田温泉行き バス停「太田町」下車、徒歩にて約350m
- ・本渡市街地循環バスのってみゆうカー（右廻り） バス停「天草市民センター前」下車

【本渡バスセンターから徒歩】

- ・約12分／約800m

大会日程

1日目

11月13日（木）	
9:00	受付、ポスターセッション、企業・委員会展示開始
9:30 9:50	大会開会行事
	会場設営・参加者移動
10:00 10:50	【研修会A（入門編）】 【研修会B（応用編）】
	会場設営・参加者移動
11:00 11:50	【研修会C（公文書分野）】 【研修会D（地域資料分野）】
	昼食・ポスターセッション（コアタイム）、企業・委員会等展示
13:10 16:00	【大会テーマ研究会】
	会場設営・参加者移動
16:10 17:25	【天草大会特別座談会】
17:30 17:45	大会閉会行事
	交流会会場へ移動
18:45 20:30	交流会（アマクササントカミングホテル）

2日目

11月14日（金）				
【研修会E（施設見学・エクスカーション）】				
研修E-1（交通費3,000円）		研修E-2（3,000円）	研修E-3（3,000円）	研修E-4（1,000円）
9:00 集合 9:15 出発 バス移動		9:00 集合・出発	9:00 集合・出発	9:00 集合・出発 バス移動
		9:15～10:00 天草アーカイブズ	9:15～10:00 天草キリシタン館	
		10:15～11:00 天草キリシタン館	10:15～11:30 天草アーカイブズ	10:00～11:15 崎津集落 (崎津諏訪神社・崎津教会・資料館みなと屋)
11:30 降② 熊本桜町バスターミナル (希望者のみ降車)		11:10頃 出発 降③ 天草市民センター バス移動	11:40～12:20頃 昼食	11:30～12:15頃 昼食
バス移動	昼食(自由)	12:00頃 昼食（上天草市）	12:30 出発 バス移動	12:30～13:15 天草ロザリオ館
13:00 降① 熊本空港	13:30～14:30 熊本市熊本博物館	12:50頃 出発 バス移動		13:30～14:10 高浜上田史料館
	終了後現地解散	13:40頃 降④ 松橋駅（在来線經由 熊本駅から新幹線）		14:15 出発 バス移動
		14:30 降① 熊本空港		
			15:00 降⑤ 熊本駅	15:15～16:30 天草アーカイブズ
			16:00 降① 熊本空港	16:40～16:50 降⑥ 熊本行きバス停 降⑦ 本渡地区
				17:10 降⑧ 天草空港

* 降は降車場所です。研修会Eに参加を希望される方は、申込時に降車場所も選択してください。

* 研修E-2の降車場所⑦天草市民センターは、希望者がいる場合のみ立ち寄ります。

* 天草アーカイブズ及び上田資料館収蔵庫は館内土足禁止の施設で、階段移動があります。

* 崎津集落内での見学先は、神社は階段移動があり、教会・資料館は土足禁止の施設です。

11月13日(木)

■大会開会式（9:30~9:50）

■研修会A（10:00~10:50）

「史料保存 ―理論だけでは人は動かない―」

平井 義人氏(大分県日出町歴史資料館)

本講では主に、大分県立先哲史料館で取り組んだ「古文書による地震・津波研究」、退職後日出町歴史資料館・帆足萬里記念館で取り組んだ「アーカイブズ教育」・「学校資料の保存」の3点についてお話ししたい。この中で学校資料の保存については、町内全小中学校の学校日誌を今後永続的に資料館に移管し保存していくという体制を構築することが出来た。地震津波研究では、これがひいては先哲史料館研究職の増員にもつながった。しかし全て順調に成功をおさめているわけではない。それは何故か。本講は主に新人のみなさんに向けて、史料保存に取り組むに当たり「理論だけでは人は動かない」という現実を、これらの実践を通してお話ししたい。

■研修会B（10:00~10:50）

「熊本市歴史文書資料室の活動と熊本市公文書館の設置について」

美濃口 紀子氏(熊本市総務局行政管理部総務課)

本市では平成28年熊本地震の被災で膨大な公文書が発生、平成30年度に保存文書等の管理に関する検討委員会の報告等を経て、令和3年4月に「熊本市公文書管理条例」を施行した。その後、令和4年11月に公文書等管理委員会から「公文書の適正な管理を実施するため公文書館及び中間書庫の設置を早期に実現すること」との答申を受け、令和6年7月「熊本市公文書館整備基本計画」を策定、現在は令和9年度末の開館を目指して公文書館整備を進めている。また本市の公文書館は、新熊本市史編纂事業（昭和63年~平成14年）終了後に収集資料の保存と活用という重要な役割を担ってきた熊本市歴史文書資料室と一体で整備する点も特徴である。

■研修会C（11:00~11:50）

「山口県公文書等管理条例の制定と山口県文書館」

山崎 一郎氏・山本 明史氏(山口県文書館)

山口県では、令和5年(2023)3月14日に「山口県公文書等管理条例」を制定し、6年4月1日から施行しました。昭和34年(1959)4月に日本で最初の文書館としてスタートした山口県文書館は、これにより、歴史資料として重要な公文書である「特定歴史公文書」を管理するとされ、県の公文書管理の一環に当館の業務が従来よりいっそう明確に位置づけられました。開館65年目の大きな変化でした。研修会では、管理条例の制定過程、その内容、特定歴史公文書の管理・利用の仕組み、条例制定後の業務の変更点などを説明するとともに、歴史公文書の評価・選別と当館への移管の現状、および課題などについて報告します。

■研修会 D (11:00~11:50)

「高校生と考える歴史資料保存」

高木 康博氏(熊本県立東稜高等学校)

中村 尚道 氏・石原 葵氏・岩村 優大氏(東稜高等学校図書委員会アーカイブズ班)

東稜高校は今年度で開学38年目を迎える。2016 年の熊本地震には避難所ともなった学校であったが、2年後に私が赴任した際には震災関係資料の残存状況は芳しくなかった。そのような中、中止となった体育祭のポスターのゲラが私のところに持ち込まれたことが、生徒図書委員会の中にアーカイブズ班をつくる契機となった。

班員となった生徒たちは、生徒会室他校内の各執務室・倉庫を訪れ本校の歴史を物語る資料を収集し、クリーニング作業・学習・展示へと進めていった。文化祭や図書委員の研修会・校内掲示等を通じ、多くの方に観覧していただき、東稜生としてのアイデンティティの獲得に繋がった。

さらに別途託された文書について考える中で、県庁文書や戦時期の資料疎開に関わった人々、地域資料についても考えを深めていった。今回生徒たちが発表するのは、日露戦争従軍中、親友の目前で命を落とした一兵士の最期を家族に知らせた手紙になる。悲惨な戦争に思いを馳せると同時に、熊本ではあまり残存していない末端兵士の手紙が100年以上も個人で守り続けられた意味について考えた。アジア・太平洋戦争終結後80年を迎える今年、県立の公文書館・博物館もないこの県において、教員・高校生として歴史資料の保存について何ができるか、考えていきたい。

昼休憩 (11:50~13:10)

■大会テーマ

地域資料調査の現在

■大会趣旨説明 (13:10~13:15)

長谷川 伸氏(大会・研修委員会副委員長)

熊本県天草市で開催します全史料協第 51 回全国大会の大会テーマ研究会は、久方ぶりに「地域資料」をテーマとし、これまで展開してきた資料の保存・活用の前提となる、アーカイブズにおける調査研究の在り方について、議論を深めたいと思います。

「地域資料」＝古文書等歴史資料を取り巻く全国的な状況は、日々年を追って重ねるごとに、その保存の難しさが際立ってきています。それは、地域における歴史資料の散逸が激化しているからです。

これまでも、地域の過疎化、世代交代による古文書についての無関心などが、歴史資料散逸の原因として語られてきました。加えて近年は、全国各地で打ち続く大地震、今までに経験したことのない集中的な大雨等、様々な激甚的な自然災害の影響が、地域資料の散逸・廃棄に拍車をかけているのです。これらの地域資料を取り巻く問題は、地域社会の人口減少という問題とリンクして、全国的に「家仕舞い」「村終い」という課題が顕在化しており、地域資料の「現地保存の原則」はもはや危機的な状況にあるといえます。

本年の大会は、地域における地域資料の現状について全国的な視点から改めて考える機会としたいと

思います。その中でも、地域資料の保存・活用活動の一番の基本である自治体アーカイブズにおける「地域資料調査」事業の現在地を確認し、今置かれている資料の保存・活用に関する諸問題を共有するとともに、これからの地域資料の保存・活用の在り方を検討してみたいと思います。

報告は開催地より①松野恭子氏（天草アーカイブズ）に、天草史料調査会の活動を母体に現在も調査が継続している「天草アーカイブズ夏期史料調査事業」の基本的な考え方と、「天草アーカイブズの今」という視点から、地域資料調査の現状と課題を提起していただきます。

また九州の地からは、②松尾大輝氏（大分県立先哲史料館）より、同館が四半世紀以上にわたって展開してきた「大分県記録史料調査事業」が再び「県下一斉民間所在史料の所在確認」調査を行うということで、これまでの調査活動を総括し、現状の課題と今後の取り組みについてご報告いただきます。

さらに愛知県からは、③加藤規博氏（愛知県公文書館）に、近年終了した『愛知県史』編さんの成果と課題、公文書館に引き継がれた地域資料、二次資料を含む編さん収集・作成資料の保存・公開の方法、自治体史編さん事業終了後の資料所在情報の管理など、その取り組みについてご報告いただきます。

大会テーマ研究会では、この3つの調査事業の事例をもとに、会員の皆様が各地でこれまで取り組んできた地域資料調査（事業）における成果と諸課題との比較から、地域資料調査の在り方を全国的な共通の問題として考える機会としたいと思います。

今大会における活発な議論を通じて、地域資料のより良い保存・活用の在り方を皆様と考え、提言していくことができれば幸いです。

■大会テーマ研究会報告Ⅰ（13:15～13:55）

「天草アーカイブズと地域史料調査 ―史料調査会から調査協力員へ―

松野 恭子氏（天草市立天草アーカイブズ）

平成9（1997）年に発足した天草史料調査会は、本渡市の史料調査委託を受けていた県外の研究者や学生、地元住民等による任意団体で、天草アーカイブズ（開館時は本渡市立天草アーカイブズ）の設立にも大きく関わっています。

平成 18（2006）年に天草市が誕生し、この史料調査を地元で根付くものにしていくため、天草史料調査会は発展的解消を行い、当館での「天草アーカイブズ地域史料調査協力員」制度へと引き継がれました。この制度を活用して実施し、また職員の技術研修の場ともなっている史料調査・整理事業を具体的に紹介するとともに、現在抱えている課題等についても報告いたします。

■大会テーマ研究会報告Ⅱ（13:55～14:30）

「大分県における地域資料調査の課題と自治体史収録文書の行方」

松尾 大輝氏（大分県立先哲史料館）

先哲史料館では、地域史料の所在把握と複製化を骨子とする「記録史料調査事業」を開館以来実施し、一定の成果を生んできた。しかし近年、いわゆる郷土史家の協力を前提とする調査体制が限界を迎えており、かつ、所在把握に大きな役割を担う基礎自治体を取り巻く環境が厳しさを増している。そこで問題となるのが、当館で集約・管理する所在情報の有効性であった。そのため、約25年ぶりとなる県下一斉調

査を実施し、所在情報とともに所蔵者の意向等について確認を行った。本報告では、この調査結果を紹介するとともに、全国的に見て早い段階で編纂された『大分県史料』の収録文書の現況について提示し、今後の地域資料調査の進め方、資料保存のあり方について考えたい。

■大会テーマ研究会Ⅲ（14:30～15:05）

「自治体史・その後」

加藤 規博氏（愛知県公文書館）

平成6年度から令和元年度の26年間にわたり編さんされた「愛知県史」。編さんの課程で収集した資料は、事業終了後愛知県公文書館に移管され、整理が進められている。事業終了の翌年度から始まった資料公開は、現在までに10万点近くになっており、デジタル画像での公開も行っている。

編さんから公開に至る過程を、編さん時、事業終了時、移管後のそれぞれの時点で何に留意し、どう対処してきたのかに焦点を当てて報告する。また、「公文書」である県史収集資料をどのような手続きにより公文書館で公開しているかについても触れる。

■総合討論（15:20～16:00）

■天草大会特別座談会（16:10～17:25）

「天草アーカイブズの過去・現在・未来を聞く」

登壇者：安藤 正人氏・金子 久美子氏

平田 豊弘氏（天草市立キリシタン資料館）

文：長谷川 伸氏

第51回全史料協全国（熊本天草）大会は、「天草アーカイブズ」が設立20周年の節目を迎え、新たに施設をリニューアルしたということで、全国大会開催の機運が高まり、実現したものです。

本年の特別座談会は、天草史料調査会の活動を母体に、「草の根文書館」の思想から設立された、地域アーカイブズのモデルの一つである「天草アーカイブズ」について、設立前夜から開館後20年間の活動に携わってこられた経験豊富な皆様に、インタビュー形式で「天草アーカイブズ」の魅力や役割を大いに語っていただきます。座談会を通じて、地域のアーカイブズが地域社会に果たす役割を皆様と考え、共有する機会としたいと思います。

■閉会行事（17:30～17:45）

交流会（ 18:45～20:30 ）

交流会会場

アマクササントカミングホテル

〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3

TEL 0969-22-0100

※大会会場から交流会会場へ、交流会後の市街中心部（ホテル周辺）への移動は、マイクロバス2台をピストン運行いたします。

◎交流会参加費 おひとり¥8,000

会員（機関・個人）による刊行物等および研究成果のポスターの展示 協賛企業による商品展示および書籍販売

会場内におきまして、会員機関の刊行物やパンフレット、協賛企業の取扱品・図書・出版物等を展示します。また、機関会員の事業等の紹介展示や書籍販売、個人会員の研究等をまとめたポスター掲示も行います。

今大会では、1つの会場にて実施しますので、企業展示・ポスターセッションを一度に巡ることができます。ぜひ、対面開催ならではの有意義な時間をお過ごしください。

○企業展示および書籍販売時間

11月13日（木）9:00～16:00

ポスターセッションでは、コアタイムを設定します。コアタイムの時間帯には、ポスター展示者が発表形式で説明を行うとともに、参加者と自由な意見交換ができます。

○ポスターセッションのコアタイム

11月13日（木）11:50～13:10

11月14日(金)

■研修会 E

研修会 E として、天草市内、熊本市内の各機関への見学を行います。参加希望の方は4つの見学コースより選び、申し込んでください。各施設の都合上、定員が各 30 名と定められており、先着順となります。

【研修 E-1】 早帰り・熊本博物館研修コース (交通費 3,000 円)

9:00 集合 → (バス移動) → 11:30 熊本桜町バスターミナル

※桜町バスターミナルで降車し、熊本駅へ向かう方はここで解散。

◎早帰りの方 → (そのままバス移動) 13:00 熊本空港

◎午後見学の方 → (各自昼食) → 13:30 熊本博物館 (ガイドンス・見学)

※午後の見学に参加される方は各自昼食をとって現地集合となります。博物館見学途中から流れ解散となります

【研修 E-2】 天草アーカイブズ・天草クリシタン館見学コース (交通費 3,000 円)

(天草アーカイブズ 45 分・天草クリシタン館 45 分)

9:00 集合 → 9:15-10:00 天草アーカイブズ → 10:15-11:00 天草クリシタン館

→ 11:10 (バス移動・昼食) → 13:40 JR松橋駅 (在来線で熊本駅へ) → 14:30 熊本空港

【研修 E-3】 天草クリシタン館・天草アーカイブズ見学コース (交通費 3,000 円)

(天草クリシタン館 45 分・天草アーカイブズ 75 分)

9:00 集合 → 9:15-10:00 天草クリシタン館 → 10:15-11:30 天草アーカイブズ

→ 11:40-12:20 昼食 → (バスで移動) → 15:00 熊本駅 → 16:00 熊本空港

【研修 E-4】 天草島内巡見・帰着コース (交通費 1,000 円)

(崎津集落・天草ロザリオ館・高浜上田史料館・天草アーカイブズ)

9:00 集合・移動 → 10:00-11:15 崎津集落 → 11:30-12:15 昼食 → 12:30-13:15 天草ロザリオ館 → 13:30-14:10 高浜上田史料館 → 15:15-16:30 天草アーカイブズ

◎熊本へ向かう方 → 16:40 頃 熊本行きバス停で降車

◎もう1泊する方 → 16:50 頃 本渡地区で降車

◎飛行機利用の方 → 17:10 天草空港で降車

天草市立天草アーカイブズ

天草アーカイブズは「市民による地域文化の創造」「より開かれた市政の運営」「情報資源を活かした高度な行政の実現」という3つの基本理念のもと、平成14(2002)年に本渡市で歴史民俗資料館に併設して開館し、天草市誕生後に天草市五和支所内へ移転、さらに閉校した校舎を改修して単独館として令和5(2023)年1月に移転リニューアルしました。見学では、改修事業や、行政・地域資料それぞれの業務の概要、書庫等をご紹介します。

天草市立キリシタン資料館(天草キリシタン館・崎津資料館みなと屋・天草ロザリオ館)

(1) 天草キリシタン館

天草キリシタン館は、「島原・天草一揆を中心としたキリシタンの歴史」をテーマに、キリシタンの歴史・文化をわかりやすく紹介している資料館です。館内では、①天草四郎陣中旗、②南蛮文化の伝来と天草、③島原・天草一揆、④一揆後の天草復興とキリスト教信仰の4つのゾーンを設けて、絵図や古文書、メダイ、十字架など、さまざまな資料などを展示。なかでも、1637年の島原・天草一揆で使用された「天草四郎陣中旗」(正式名称: 綸子地著色聖体秘蹟図指物。国指定重要文化財)は、日本のキリスト教史を代表する歴史資料であり必見です。

(2) 崎津資料館みなと屋

崎津資料館みなと屋は、崎津(さきつ)・今富(いまとみ)集落の歴史や漁村特有のキリシタン信仰などを紹介する施設として、平成28(2016)年8月にオープンしました。建物は、昭和初期の旅館を、間取りを維持したまま改修し、再築したものです。当館では、キリスト教布教期から潜伏期の資料を中心に展示しているほか、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と、その構成資産の一つである「天草の崎津集落」に関するガイダンス映像も放映しています。

(3) 天草ロザリオ館

天草ロザリオ館は、「潜伏キリシタンの暮らしや信仰・文化」をテーマに、潜伏キリシタンの歴史や文化などをわかりやすく紹介している資料館です。館内では、マリア観音像や経消しの壺(熊本県指定重要文化財)など数多くの資料を展示しているほか、キリシタン信者が密かに祈りを捧げていた「隠れ部屋」の実物大ジオラマも常設。また、天草のキリシタンの歴史や人々の生活のようすなどの映像を放映しています。

上田資料館

上田資料館は天草の古文書と古高浜焼等の資料館で、上田家庄屋宅や高浜焼販売店と併設しています。上田家は近世に高浜村(現天草市天草町高浜)の庄屋を務めた家で、1700年代に天草で陶石の採掘事業を始め、窯業を開きました。上田家には古高浜焼や、村営・事業経営等に関する古文書等が残されており、その一部を一般公開するため、平成9(1997)年に資料館を開館しました。見学では、資料館と古文書収蔵庫をご覧ください。

熊本博物館

熊本博物館は昭和27(1952)年に自然・人文科学の博物館として、熊本城宇土櫓および旧第六師団司令部跡に開館しました。その後2度の移転の後、全面改修工事を終え、平成30(2018)年、リニューアルオープンを果たしました。「未来へつなぐ熊本の記憶」をテーマに掲げた、総合博物館です。見学では重要文化財「細川家舟屋形」((公財)永青文庫所蔵、管理団体:熊本市)をぜひご覧いただきたいと思います。

参加申込方法

I 大会参加について

(1) 参加区分と各参加費等

参加区分	大会参加費	研修 E 交通費 (参加は任意)	交流会参加費 (参加は任意)
会員 (機関・個人ともに)	無料	研修 E-1~E-3: 3,000 円 研修 E-4: 1,000 円	8,000 円
非会員	1,000 円	研修 E-1~E-3: 3,000 円 研修 E-4: 1,000 円	8,000 円

※参加される方は、事前に送付します「大会冊子」をプリントアウトするなどして会場にご持参ください。

※オンラインによるライブ中継は行いません。大会終了後、期間限定による配信を行います。

参加区分	12 日バス交通料	12~13 日宿泊料 (旅行会社手配)	14 日宿泊料 (旅行会社手配)
会員 (機関・個人ともに)	熊本空港発: 3,300 円 熊本駅発: 2,500 円	10,500 円	9,500 円
非会員	熊本空港発: 3,300 円 熊本駅発: 2,500 円	10,500 円	9,500 円

●キャンセル料 (宿泊料及び交流会費は旅行会社手配の関係上、キャンセル料が発生します)

キャンセル日	宿泊開始・交流会 の4日前まで	宿泊開始・交流会の 3日~2日前まで	宿泊開始日・交流会日 の前日まで	宿泊当日・ 交流会当日
キャンセル料	無料	代金の 20%	代金の 50%	代金の 100%

(2) 研修会 A・B、研修会 C・D について

研修会 A と研修会 B は同時刻に別会場で開催されます。研修会 C と研修会 D も同様です。参加を希望される方は、いずれの研修会に参加されるかを申込フォームまたは申込用紙にて必ず選択してください。

(3) 研修会 E (施設見学) について

- ・研修会 E への参加・不参加を、申込フォームまたは申込用紙にて必ず選択してください。参加を希望される場合は、コースもお選びください。
- ・研修会 E は、各施設の都合上、定員が定められており、先着順となります。定員に達しましたら募集停止とし、全史料協ウェブサイトにもその旨記載しますので、申込み前に必ずウェブサイトをご確認ください。
- ・施設見学のオンラインでの実施はございません。

(4) 交流会について

交流会への参加は任意です。参加・不参加につきましては、申込フォームまたは申込用紙にて必ず選択してください。

(5) 11月12日(水) 迎えバスについて

開催地へのスムーズな移動のため、熊本空港、熊本駅から天草市直行の貸切バスを運行します。

熊本空港 … 団体バス乗降場より ①15:30 発(交通費 3,300 円)

熊本駅 … 新幹線口側団体バス乗降場より ②15:00 発 ③17:00 発

(②③とも交通費 2,500 円)

迎えバスをご利用の方は申込フォームまたは申込用紙にて必ず選択してください。なお、バスの定員が定められており、先着順となります。

(6) 宿泊先の手配について

開催地は宿泊場所が限られるため、旅行会社が手配をいたします。

宿泊料金(朝食付き) 12日…10,500円、13日…10,500円、14日…9,500円

旅行会社の手配を希望される方は申込フォームまたは申込用紙にて必ず選択してください。

宿泊場所については、後日旅行会社からご連絡いたします。

2 お申し込み先・お問い合わせ先について

(1) お申し込み先・お問い合わせ先

・下記の URL または2次元コードからオンライン申込フォームを利用してお申込みください。

・オンライン申込みが難しい場合は、別紙「申込書」に御記入のうえ、受付業務を実施する日本内外旅行までメール・FAXにてお申し込みください。

▶ 日本内外旅行ホームページ

<https://nihon-naigai.com/>



▶ メール・FAXでの申込み先

Mail:nihonnaigai@gmail.com

Fax:096-352-5565

▶ オンライン申込フォームリンク

<https://forms.gle/creLHNWRzWKTmfy79>



▶ お問い合わせ先

〒185-0024 東京都国分寺市 2-2-21 東京都公文書館

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 大会・研修委員会事務局

担当 西木・瀧澤・小池

Tel 042-313-8450

E-mail:Kouichi_Nishiki@member.metro.tokyo.jp

(2) 参加費・交通費・宿泊費・交流会費・昼食代のお支払いについて

- ・受け付け終了後、オンライン申し込みフォーム、メールでの申し込みに対してはメールで、FAXでの申し込みに対しては FAX で確認の連絡が届きます。申し込み内容と金額を確認の上、指定された口座に令和 7 年 10 月 10 日(金)までに参加費を振り込んでください。
- ・各領収書は会場受付時にお渡しいたします。
- ・支払いに関しまして請求書等の特別な書類が必要な場合は、申込時にその旨ご記入ください。記載のないものにつきましては、対応いたしかねますのでご了承ください。

【振込先口座】

肥後銀行 水道町支店(支店番号 152)
株式会社 日本内外旅行
(かねふたが けいこ)
普通預金口座 口座番号 523109

3 申込み締切 令和7年10月10日(金)

※入金もなるべく 10/10(金)までに振込をお願いいたします。

4 その他

- ・当日持参いただく「大会資料」は、今回は冊子の形ではなく、データにて参加者にのみメール送付いたします。不参加の方で「大会資料」のみ必要な方は、後日、当会ウェブサイトに掲載いたしますので、ダウンロードしてご活用ください。